

2003年7月15日

各位

## 新規エイズ治療薬（経口 CCR5 受容体拮抗剤）米国で臨床試験を開始

英国グラクソ・スミスクライン社（GSK 社）は、小野薬品が創製した新規エイズ治療薬「CCR 受容体拮抗剤：開発記号 GW873140（ONO-4128）」の第 Ⅲ 相臨床試験を米国において開始しましたのでお知らせします。

本剤は昨年 12 月、小野薬品がエイズ領域において開発および販売実績のある GSK 社に全世界での開発・製造・販売に関する権利を供与していたものです。

CCR5 受容体は、HIV 感染からエイズ発症に至る初期および中期過程において、HIV ウィルスが細胞に侵入する時に利用する重要な受容体の一つと考えられています。

GW873140（ONO-4128）は小野のゲノム研究から生まれた低分子化合物で、CCR5 受容体に拮抗することでウィルス感染を防ぐ薬剤です。

このように GW873140（ONO-4128）は、エイズウィルス自体の増殖を抑制する既存の抗エイズ薬（逆転写酵素阻害剤、プロテアーゼ阻害剤）とは全く異なる新しい作用機序により HIV 感染を防ぐことが期待されます。

また、従来薬ではウィルスの急速な突然変異に伴って薬剤耐性が問題となることがありましたが、本剤の標的である CCR5 受容体はヒト免疫細胞の表面（細胞膜）に存在するため、変異ウィルスの出現による薬剤耐性の可能性も低いと考えられています。

尚、今月、パリで開催されている第 2 回国際エイズ学会（7/12～7/16）において、本剤の共同研究者である熊本大学医学部第二内科教授の満屋 裕明先生のグループが本剤の薬理学的特徴について発表されました。その基礎的データは、今後、本剤を臨床的に評価していく価値を支持するものになるだろうと GSK 社はコメントしています。

以上

小野薬品工業株式会社  
広報室  
TEL：06-6222-5551  
FAX：06-6222-2875